

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども療育研究室Lulu菊池（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月 22日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービススタッフも利用児童の保育所等訪問支援に出ることで、事業所以外の場所での児童の様子などの違いをしっかりと把握し、支援へ活かすことが可能。	・朝礼時の振り返りの際に保育所等訪問支援での様子などを共有している。 ・多角的に視点で、児童のアセスメントができるように、他職種で連携しながら保育所等訪問支援を行なっています。	各学校ごとに担当を半年～1年にすることで、経過もしっかりと把握できるように行う。
2	理学療法士や作業療法士などの専門職種の訪問員が在籍しており、専門的な評価や支援を行う事ができる。	通所療育で携わっているセラピストも定期的に児童の保育所等訪問支援でサービス提供を行っており、普段の様子や評価などを関係機関と連携している。	外部と連携しやすいようにアセスメントシートや評価シートなど、視覚的に外部の関係機関に分かりやすく情報共有などが行えるようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問スタッフが次回訪問の予約などをもってもらっているため、急遽訪問になったりとスケジュール管理の問題点がある。	放課後等デイサービススタッフ自らが予約を取ろうとすると、送迎等の時間にかぶってしまい、業務に支障が出るため訪問支援スタッフへお願いしている状況	学校ごとに月初に訪問予定表を訪問支援員から提出してもらい、早めにスケジュールを調整している。
2	保育所等訪問支援でのフィードバックが学校や園へタイミング良くできないことがあり、フィードバックのタイミングやフィードバック仕方など今後の課題であります。	個人情報の観点から保護者より訪問記録の共有の許可が得られている児童に関しては、書面にて訪問施設への情報共有をさせていただきます。	年に数回（夏休み・冬休み・春休みなど）時間の余裕がある日があれば、学校や園と支援会議などを会議を実施しながら、日頃できていない情報交換の場を設けていきます。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども療育研究室Lulu菊池（保育所等訪問支援）	公表日	2025年 3月 10日
		利用児童数	28
		回収数	16

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	12	特記なし	不足物もあるため、必要に応じて備品を購入していく。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	2	0	9	特記なし	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし	契約の際には、保育所等訪問支援の介入までの流れや直接支援・間接支援について説明し、どのような職種が介入するかなども説明させて頂いています。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	13	1	1	1	特記なし	保護者さんの希望をもとに、園や学校を訪問させて頂いた際の必要性に応じて訪問させて頂いています。
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	14	1	0	1		理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・児童指導員・保育士などの6名体制で訪問させて頂いており、児童のニーズにあった訪問ができるような体制を整えています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし	障害特性に対しては勉強会も行い、特性に対する対処法など理解した上で、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士が連携しながら多角的視点で訪問を行っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	特記なし	保育所等訪問支援のみをご利用いただいている児童も多く、支援会議でのヒアリングや、LINE・電話などで情報共有しながら個別支援計画を作成しています。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	13	1	0	2	特記なし	訪問時に園や学校での問題点や、本人のストロングポイントを共有しながら、個別支援計画書の作成しています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	2	特記なし	本児の課題に合わせて具体的な支援内容を目標設定が出来るように努力していく。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	特記なし	日頃から訪問支援員が児童発達支援管理責任者と連携をとることで、保育所等訪問支援計画に沿った支援が行えるように努力しています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	特記なし	訪問先には事前に挨拶に伺い、園や学校の方針、環境や人員配置など配慮などに配慮しながら、各現場で可能な支援方法の提案などをさせて頂いています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	特記なし	重要事項説明書を用いて、利用負担額や、訪問時の身体拘束の同意書なども含めて説明させて頂いています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	0	0	特記なし	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	2	2	8	特記なし	県内の研修会などの案内や、ペアレント・トレーニングなど従って行っていない部分もあり、今後尽力していきたい。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0	特記なし	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなどに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	6	0	1	特記なし	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなどに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	特記なし	園や学校などご家庭、療育事業所が三位一体になって支援できるように、スタッフ指導を行っています。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	0	0	0	特記なし	
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	2	0	0	特記なし	可能な限り、専門用語を使わず、わかりやすい言葉で説明しています。言葉だけではわかりにくいものに関しては視覚的な情報提示して説明しています。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	13	0	0	3	特記なし	質問された内容に関しては、その場でお答えできなかった内容に関しても理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・保育士が連携しながら多角的視点でお答えできるように努力しています。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	0	0	4	特記なし	施設や学校などにて必要に応じて、ケース会議を相談員に依頼して開いてもらったりしています。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	14	2	0	0	特記なし	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなどに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	4	0	3	特記なし	保育所等訪問に関しては今年度より開始していません。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2	特記なし	LINEでの訪問記録のやり取りのどがなくなり、訪問記録のやり取りが専用のアプリになったことでSNSを介した個人情報の漏洩の危険性も比較的低くなってきています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	11	0	0	5	特記なし	直接支援に入る際は、学校や園の許可を得てから介入を行っています。万が一に備えて損害賠償保険などにも加入させて頂いています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0	特記なし	児童の支援で予測される身体拘束・静止などの行為に対しては、身体拘束の同意書をとり、計画書にも明記しています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13	0	2	1	特記なし	第一に子どもの意思を尊重しながら、子どもの気持ちに寄り添いながら支援をしています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	特記なし	事業所やグループ内で、スタッフの研鑽の場を設けながら、さらなる満足度の向上に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			2025年 3月 10日	
こども療育研究室Lulu菊池（保育所等訪問支援）		施設数			23	回収数 18
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見を踏まえた対応		
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	15	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧に伝えてくださっています。また私達保育士の立場に立って頂き、ありがたく思っています。 ・客観的に対応の仕方などを見て教えて下さるのでとても助かっています。 関係機関に分かりやすく伝わるように紙面での情報共有やアドバイス方法なども取り入れていきます。		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の順序や状況など専門的なところを教えてくださいたいです。 ・自分で不安に思う部分を専門的に教えてくださいたいです。 ・対象児の様子と保育士の関わりをしっかりと見られた上で、回答して下さっています。 引き続き、関係機関と連携して訪問先に対して有益な情報や知識の共有などができるように努めていきます。		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに回答頂き、足りないところは次回補足を頂きました。 ・母親の気持ちを聞いて下さり、必要な時にはこちらにも教えて下さるので、とても助かっています。 質問には適宜お答えできるように努力しておりますが、園や学校の先生の状況を見て、後回しになったりフィードバックの時間がずれてしまうことがあります。フィードバックの時間やタイミングに関しては事業所内でも検討していきます。		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児はもちろんですが、対象児以外の子どもとの関わりで、悩んでいる事も相談させてもらい、共感して頂きました。 保育所等訪問のみではなく、事業所や家庭と協力して児童をサポートしていくことが重要だと思いますので、今後も連携をしながら、社会生活の中での課題や困りごとが減るように努めていきます。		
5 事業所からの支援に満足していますか。	11	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての訪問支援でした。保育現場の現状を実際に見てもらい適切な支援の方法がわかり、実践する事ができました。 ・いつも一緒に考えてくださり、ありがたく思っています。 一回一回に訪問する時間を有意義なものにできるような、フィードバックの仕方を含め工夫していければと思います。		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> ・1年間、関わって頂き、対象児を通し、成長や関わりを共有した担任の一人となっておられる存在です。 ・対象児以外の子ども達も同じように感じているようで、訪問員と楽しく接する姿が見られます。 ・私達保育士も訪問員にたくさん教えて頂き、多くの励みで、自信を持たせて頂きました。本当にありがとうございました。この一年で学んだ事を褒めとし、子ども達が安心して過ごせるよう、より精進していきます。 ・就学に向けた支援・保育の仕方を教えていただけるとありがたいです。 ・たくさん教えていただき、私の気づきではなかった視点も教えていただけ助かりました。子ども自信も成長しましたが、保護者との共有が難しいかっただけで、相談員さんを通じてでも良いので、共有できると嬉しいです。 ・来年度も引き続き、訪問していただくと成長が期待できるかと思えます。1年間ありがとうございました。 				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も関係機関から相談しやすい関係性作りを今後も務めていきます。 ・就学に向けた支援や保育などの方法も関係機関と連携し、児童に良い方法などを一緒に検討していきます。 ・関係機関や保護者、事業所と一緒に連携できるように、情報共有等をしっかりと行っていきます。 		

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	こども療育研究室Lulu菊池（保育所等訪問支援）	公表日	2025年 3月 10日
------	--------------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	6	0	不足物もあるため、必要備品が少ない。	不足物もあるため、必要に応じて備品を購入していく。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	定期的にミーティングを行い、訪問や書類業務などで見えてきた改善策については各自分析を行い、改善策を出し合い業務効率化や質の向上に努めています。	継続して取り組んでいきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	今年度から保護者アンケートを開始しています。相談支援員からの家族の満足度などのフィードバックはいただいています。	継続して取り組んでいきます。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	相談員や関連事業所からは担当者会議にて情報共有させていただき、訪問のする際の参考にさせていただいています。	継続して取り組んでいきます。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	グループ会社や法人内で情報交換する場などを設け、お互いの良いところや改善点を掘りながら業務改善に繋げています。	継続して取り組んでいきます。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	法人全体の研修会の勉強会に加え、保育所等訪問の研修を、初任者研修から、事例検討など法人内やグループ会社と協力して実施しています。	継続して取り組んでいきます。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6	0		児童発達支援管理責任者と訪問支援員と連携して、適切にアセスメントできるように継続していきます。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	訪問支援員記録を見たり、訪問支援員と情報共有しながら、個別支援計画への落とし込みを行っています。特に保育所等訪問のみ利用で、通所サービスを利用していない児童を届ますので、その児童に関しては特に訪問支援員と情報共有を密に行っています。	継続して取り組んでいきます。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	通所サービスのスタッフも、保育所等訪問に興味のあるスタッフに関しては、訪問支援員と訪問へ同行して、学校や園での課題を教習しながら、通所サービスとの連携を図る取り組みも行っていきます。	継続して取り組んでいきます。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	HUGという療育に特化したアプリ上で個別支援計画の共有を図り、パソコンがあればいつでもどこでも確認できる環境があります。	継続して取り組んでいきます。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		必要に応じてツールなどの導入も行っていきます。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	計画書に具体的に書けず、包括した表現を使ってしまう場合がありますが、本人の課題に合わせて具体的な支援内容を目標設定が出来るように努力しています。	個別支援計画で支援内容など包括して書かず、具体的に内容を記載し、家族や本人にわかりやすい表現法で記載していくよう努めます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	HUGという療育に特化したアプリ上で個別支援計画の共有を図り、パソコンがあればいつでもどこでも確認できる環境があります。	継続して取り組んでいきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	前回の訪問した際の課題やアセスメントした内容から、多角的な視点で支援ができるように職種を変えて訪問することもあります。訪問に行く前に通所スタッフから、情報収集を行い課題のすり合わせなどを行う訪問に行くようにしています。	継続して取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	訪問で気になったことがあれば、通所などでの活動に反映されるように、情報共有を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6	0	訪問先には事前に挨拶に伺い、園や学校の方針、環境や人員配置など配置などに配慮しながら、各現場で可能な支援方法の提案などをさせて頂いています。	継続して取り組んでいきます。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6	0	毎回観察した内容、観察した内容に対するアセスメント、課題に対する支援豊富などをまとめて書くようにしています。	継続して取り組んでいきます。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを行なっています。	継続して取り組んでいきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	訪問機会の多い訪問支援員が参加し、万が一参加できなかった場合は児発管へ申し送りを行なって参加してもらっています	継続して取り組んでいきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	相談員や関連事業所からは担当者会議にて情報共有を行い連携を図っています。	継続して取り組んでいきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	移行連携もスムーズに行えるように、学校に上がる前に情報提供種を作成したり、相談員に担当者会議を開いてもらい児童の特性理解、支援内容の共有などに努めています。	継続して取り組んでいきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	希望したスタッフには研修会費用の補助などを行なっています。非常勤講師による事業所内勉強会を行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	2	主として担当の管理者と児童発達支援管理責任者が参加しています。	継続して取り組んでいきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなのに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。	継続して取り組んでいきます。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	積極的に取り組めていないため、今後検討していきたい。	今後検討して開催していきたい。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	重要事項説明書を用いて、利用負担額や、訪問時の身体拘束の同意書なども含めて説明させて頂いています。	継続して取り組んでいきます。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	0	事業所で、保育所等訪問支援についての説明用リーフレット作成、保育所等訪問支援について説明するとともに、入校・入園依頼書を作成して、それによって訪問の目的や趣旨を説明してから訪問を開始しています。	継続して取り組んでいきます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	契約した際や、モニタリングの際にはヒアリングを行い、こどもや家族の意向を確認しています。	継続して取り組んでいきます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6	0	児童発達支援管理責任者もしくは、担当の訪問支援員から更新月に、説明し、同意を頂いています。	継続して取り組んでいきます。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなのに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。	継続して取り組んでいきます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	年に2回程度のグループ会社Lulu North & side主催に研修会のみで、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援があまりできておらず、ペアレントプログラムなどの活動を含めて検討していきたいと思えます。	継続して取り組んでいきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	常に複数名・訪問支援が在籍しており、一人のスタッフで解決しないことなどについては、上司や多職種と連携して、相談に乗る体制が整っています。	継続して取り組んでいきます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	LINEを利用することにより、電話より気楽に、タイムリーに情報発信ができるような環境を整え、保護者へ訪問時の様子や共有したい支援方法などを発信しています。	継続して取り組んでいきます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	情報提供書などファイリングし、鍵付きの書庫で保管しています。ケース会議などの時以外は持ち出していません。	継続して取り組んでいきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	可能な限り保護者やお子さんでも、わかりやすいように専門用語をしましなないように、本人の意思検定ができるようにわかりづらいつらいもに関しては画像などで細く説明しています。	継続して取り組んでいきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6	0	訪問スタッフで解決しないことなどについては、上司や多職種と連携して、相談に乗る体制が整っています。	継続して取り組んでいきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6	0	園や学校の時間余裕がある期間にカンファレンスなどを積極的に行なっています。特性理解や、ライフステージの変化に伴う課題などが多い場合には相談員に依頼して、話し合いの場を設けてもらっています。	継続して取り組んでいきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6	0	毎回訪問した際には、訪問記録を作成し、保護者との共有を図り、保護者の悩みなのに関しては訪問支援員がLINEなどでタイムリーに対応できる環境づくりを行っています。	継続して取り組んでいきます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	情報提供書などファイリングし、鍵付きの書庫で保管しています。ケース会議などの時以外は持ち出していません。	継続して取り組んでいきます。

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	質問された内容に関しては、その場でお答えできなかった内容についても理学療法士・作業療法士・保育士が連携しながら多角的視点でお答えできるように努力しています。	継続して取り組んでいきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	法人グループ内で各種委員会を立ち上げ、マニュアルに沿った研修会を定期的に行い周知しています。	継続して取り組んでいきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	各事業所でもマニュアルやBCPに沿った避難訓練や、スタッフ間でのシュミレーションなどを行っています。	継続して取り組んでいきます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	管理者でヒヤリハットがインシデントアクシデントの見極めを行い、用紙に記載し、全体での共有を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	法人グループ内で各種委員会を立ち上げ、身体拘束や虐待防止、ハラスメントなどを防止するための研修会を定期的に行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	児童の支援で予測される身体拘束・静止などの行為に対しては、身体拘束の同意書を取り、計画書にも明記しています。	継続して取り組んでいきます。